

請 願 一 覧 表

令和2年8月27日(木)

請 願 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会
請 願 第 1 号	請願書「コロナの危険な中で学ぶ 子どもたちに、少人数学級を実現 する意見書を求める請願」	中津川市西宮町2-13 新日本婦人の会中津川支部 支部長 大本 眞知子	文教民生 委員会

請 願 文 書 表

令和 2 年 第 4 回 中 津 川 市 議 会 （ 定 例 会 ）

令和 2 年 8 月 2 7 日 （ 木 ）

受理番号	請願第 1 号	受理年月日	令和 2 年 8 月 2 1 日
件名	請願書「コロナの危険な中で学ぶ子どもたちに、少人数学級を実現する意見書を求める請願」	紹 介 員	木 下 律 子
請願者	中津川市西宮町 2 - 1 3 新日本婦人の会中津川支部 支部長 大本 眞知子	付 託 委員会	文 教 民 生 委 員 会

(1) 要旨

緊急事態宣言が解除され、6月1日から学校が再開されました。

コロナのための緊急事態宣言で3カ月という長期休みの中で、子どもたちは、「学校がないと、こんなにも大変だということ」「学校は勉強もだいじだけれど、友だちと遊んだり、話したり、食べたりのがだいじだったこと」「先生やみんなとああでもないこうでもない考えるのが面白かったこと」など、学校で友達と一緒にまなぶことの大事さ楽しさを実感しました。

分散登校中の少人数授業で一人ひとりの顔がよく見えることや授業がよくわかることを先生も子どもたちも実感しました。感染防止の手立てと児童の学びの保障のために、今こそ少人数学級の実現が求められています。

よって、貴議会に国会及び政府に対し、次の事項を実現するよう意見書の提出を求めます。

- 1、子どもたちのいのちと健康を守り、成長と発達を保障するため、早急に30人学級を実施すること。そのために教職員の増員と教室確保を国の責任で行うこと。
- 2、30人学級実現のために、国は標準法を改正し、教職員定数改善計画を立てること。

(2) 理由

- ①新型コロナウイルス感染予防のために、専門家会議も「新しい生活様式として、身体的距離の確保」を呼び掛けています。「人との間隔はできるだけ2m（最低1m）は必要」とあります。全国の平均的教室が64㎡ですが、40人学級では一人4㎡の確保は困難です。

- ②子どもの成長には人と関わることは欠かせないものです。密を避ける生活の中では、子どもは不安定になりやすいものです。子どもの心身のケアのためにも、長期休校による学習の遅れを取り戻すためにも、少人数学級での一人ひとりに寄り添った丁寧な支援が必要です。
- ③現在全国で深刻になっている「いじめ」「不登校」「子どもの自殺」「子どもの貧困」の増加に対応するためにも少人数学級での丁寧な支援が必要です。
- ④現在、中津川市をはじめ、日本全体で少子化が進行しており、以前より少人数学級が実現しやすくなっています。（教員の定員を減らさず、その分少人数学級の実現に回す）
- ⑤現在の日本の学級編成基準（上限）1学級40人はOECDの中で1学級当たりの児童生徒数は、最も多い国の1つです。
- | | |
|-----------|-----------------|
| OECDの学級定員 | ドイツ24人（1～10年）標準 |
| | イギリス30人（1～2年）上限 |
- ⑥グローバル経済が進行している世界の中、少人数学級の中で、自分で考え、自分の考えを述べる力を育てる教育が必要になっています。
- ⑦全国知事会会長・全国市長会会長・全国町村長会長も少人数学級の実施を求めています。